

今週の富大生

Weekly TOMIDASEI

第14号

工学部 工学科

機械工学コース

3年

愛知県立五条高等学校
(愛知県)



これまでも、これからも

フォーミュラプロジェクトに情熱を注ぎ続ける

学生フォーミュラがある大学を目指す

子どもの頃から車が大好きでした。中学2年の時に近所のトヨタ名古屋自動車大学の学園祭があり、レクサスのLFAというスーパーカーを見ました。そこからレースやフォーミュラに興味を持ち調べ、学生フォーミュラという大会があることを知りました。学生が自分たちでデザインやコストを含めて考え、車をつくり、実際に走らせるというコンテストは、とても魅力に感じました。高校生の時、勉強のモチベーションが上がらない時もありました。そんなときは「学生フォーミュラをやりたい。大会に出たい。」という気持ちを思い出し、勉強のモチベーションにしていました。前期も後期も、学生フォーミュラの大会に出ている国立大学の工学部に絞って受験しました。

ドライバーとしてみんなの1年を背負う

大学入学後は、すぐにフォーミュラプロジェクトに入学しました。毎年9月に行われる「学生フォーミュラ日本大会」に向けて、1年かけて全国で上位入賞できるような速いレーシングカーを設計しなければなりません。部員1人1人が役割を持ち、分担して進めていきます。僕は「希望者が多いだらうな...」と思いつつドライバーに希望を出したら、ドライバー希望がいなくて(笑)ありがたいことに、ドライバーに決定しました。2年生の時からドライバーとして、部員みんなの1年間を背負ってレースに出場しています。

活動では、失敗からの学びも多い

2年生のときに、これまで支援をいただいていたスポンサー企業に車の部品の納期を急かす内容のメールを送ってしまいました。その後、その企業からの支援は途絶えてしまいました。振り返ると、もっと計画的に早く依頼し、段取りよく物事を進めていればこのような結果にはならなかったと気づきました。その後の自分の行動を見直す大きな転機になりました。

来年に向けて

これまでガソリン車で勝負してきましたが、2024年の今年はEV車に切り替えて、初めて挑みました。タイムアタックではEV車24校中4位と健闘しました。しかし、耐久レースでは完走できず、リタイヤという悔しい結果に終わりました。来年に向けて、より良い結果を目指し始動しています。



これからもフォーミュラと

学部卒業後は富山大学の大学院に進学して、フォーミュラプロジェクトに関わり続けたいと考えています。他大学の大学院に進むという選択肢もありますが、今年の大大会で名古屋工業大学と競う機会があり、「負けたくない!」と強く思いました。今のこの富大チームで、一泡吹かせてやりたいと思っています。大学院後は、できれば自動車やバイクに関係する仕事がしたいですね。

母校の後輩へ

大学はどこに行くかではなく、何をするかだと思います。自分のやりたいことを全力で探ることが大切です。